

## 福岡市食育推進会議議事録

- 1 開催日時 平成24年8月6日(月) 13:30～15:00
- 2 開催場所 福岡国際ホール 大ホールA
- 3 会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 職務代理者の指名
- 5 報告
  - ①第2次福岡市食育推進計画の概要について
  - ②第2次福岡市食育推進計画の成果指標について(進捗状況)
  - ③食育推進事業の実施状況について
- 6 議題  
今後の計画推進について
- 7 閉会

- 4 出席委員 福岡市食育推進会議委員 23名  
欠席委員:江頭啓介委員、倉光一雄委員、小石澤佳子委員、南原茂委員、  
吉村展子委員
- 5 報道機関取材者及び傍聴者  
報道機関:無 傍聴者:無

市長	—会長挨拶—
事務局	(報告 ①第2次福岡市食育推進計画の概要についての説明 ②第2次福岡市食育推進計画の成果指標について(進捗状況)の説明)
委員	小学生の朝食摂取率は、どのような調査をしたのか教えていただきたい。 もう1つ、20歳代の女性の割合が急に伸びているが、理由が分かれば教えていただきたい。
事務局	小学生については、栄養士がいる55校でアンケート調査を行っております。 20代の女性は、市民アンケート調査をさせていただいております。 朝食の大切さは、マスコミ含め、非常に啓発されていると思います。
委員	栄養士がいない学校のデータはとっていないのですか？
事務局	申し訳ございません。データはございません。栄養士も異動があり、毎年同じ学校での調査というわけではありません。
委員	栄養教諭配置校で高くなるのは、教育が行き届いているからではないかという気がします。栄養士がいらっしゃらない学校も調査して頂くと、栄養士の効果が分かるので、調べていただくといいのではないかと思います。
事務局	栄養士等は55校にしか配置されておりましたが、その他の学校につきましても、担当校ということで、食育推進に努めている状況です。 ただ、配置校と担当校で状況は異なるかも知れませんが、検討していきたいと思っております。
委員	小中学校の給食の残滓率とありますが、小学校と中学校で何か対策をされたのでしょうか。
委員	中学校も、盛んに食育活動をしております。生徒会の活動として「残滓を減らそう」という活動をしておりますので、少しずつ残滓率が減ってくるのではないかと思います。
委員	この結果は、主食と副食ですか。
事務局	主食もおかずも含めてです。
事務局	(報告 ③食育事業の実施状況についての説明)

委員	幼稚園は、半分以上が外からの弁当給食ですが、この中にもあるように、芋の苗植えや、芋掘り、野菜作りなどをしております。 朝ごはんを食べてきているかどうかのアンケートは、ほぼ100%近い数値がでています。
委員	よかドック&ヘルシースクールについて、生活習慣の改善が必要と診断されている方が269人いらっしゃいますが、このうちヘルシースクールや保健指導を受けられた方は実際に何%いらっしゃるのか。また、その効果を教えていただきたいです。
事務局	改善が必要な方には、結果返却の時に、「保健所に行ってアドバイスをもらってください。」と声かけをしております。指導が必要な人は男性が多いのですが、なかなかヘルシースクールへ参加できないというのが大きな課題でした。こちらからも個人宛に文書を出して、結果的に10名程度が受けられましたが、その方々はマンツーマンで指導をしています。事業を開始して、まだ半年しかたっておりませんので、効果はまだ明らかになっておりません。
委員	30代からチェックしていかないと、40代でさらに悪くなると思うので、システムを少し考えられると効果はあると思います。
委員	おうちごはん塾は、まだ第1回目ですので、これからもっと工夫して、さらに有意義な授業に出来たらと思います。できましたら、回数をもう少し増やしたほうがいいですね。
委員	コンシューマ福岡は、消費者の食生活の安心・安全の向上のための活動をしています。西区と保健福祉局での取り組み、若いうちから食に関心があるということで、大人になってからも大事だと思います。 質問ですが、国産物に対する放射性物質について、福岡市が食の安心安全に関する、こういった取り組みをされているのか、教えていただきたい。
事務局	福岡市では平成24年4月から、青果市場・鮮魚市場に流通している、福島県周辺の1都16県の検査をしております。先月までに合計27検体、肉・野菜・果物・鮮魚を行っております。いずれも基準値以下で、放射性物質は出ておりません。
委員	食育推進について、継続的に様々な分野で取り組んでおられ、全国的にも評価が高い福岡市の取り組みについてのご説明ありがとうございました。 2次計画の中で、学校給食を活用した食に関する指導の充実というのをございます。栄養教諭がいる学校は残滓が少ないと考えられますし、学校の菜園活動に参加するだけでも残滓が少なくなると言われています。 食や栄養に関わる機会が多い、また指導に関わる方が身近にいれば、食に対する関心・意識も高くなりますし、健康を守るのが食事だということも良く分かると思いま

	<p>す。</p> <p>毎年、栄養教諭等を増やす努力をなさっているのは存じておりますが、現在、学校栄養職員が71名、うち栄養教諭が63名。学校数に比べますと、まだ少ない状況です。本校も、管理栄養士・栄養教諭を養成していますので、福岡市の各小学校には大変お世話になっております。人材育成にも非常に良い実習ですが、現場は大変忙しく、1人で複数の小学校を担当されるご苦勞を身近に感じ、実習をお願いし難い状況になっていますので、栄養教諭を増やしていただきたい。</p> <p>また、子どもたちを通して、保護者の健康も良くなると思います。</p> <p>生活習慣病予備軍となる世代の保護者の健康状態を良くし、医療費の削減にも繋がると思いますので、栄養教諭の充実をよろしくお願いします。</p>
委員	<p>残滓についてです。小さい子どもは特に、苦いものは食べたくない。主食はともかく、副菜で体に合わないものは口に入れないというのが多いです。</p> <p>主食以外の副菜に関して、数字で表したり、強く言わない方がいいものもあるのではないかという考えはあります。</p>
事務局	<p>(議題 今後の計画推進についての説明)</p>
委員	<p>学校給食における、完食率の向上という取り組みがございます。</p> <p>中学校給食の残滓率は平成23年度に9.5%まで下がっていますが、27年度の目標値10%というのはなぜですか。</p>
事務局	<p>2次計画を策定した22年度の時点で11.1%でしたので、10%以下という目標値にしております。現状としては、23年度に9.5%ということで、10%以下の目標値を既に達成しているということでもあります。</p>
委員	<p>達成した目標値がそのままというのはおかしいと思います。</p> <p>本編の方に「中学校の残滓は減少しておりますが、まだ目標値とは隔たりがあります。」と記載されていますので、しっかり目標値を掲げて、さらに減らす必要があると思います。目標値の設定が少し違うのかなと思っております。</p>
事務局	<p>本編6ページのとおり、第1次計画での残滓の目標値は、おかずのみで設定させていただきました。2次計画では、おかずのみではなく主食を加えて目標値を設定し、達成したところですが、今後も取り組みを続けて毎年目標を達成できるように取り組んでいきたいというところでございます。</p>
委員	<p>27年度の目標値は、いつ設定をされたものでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度の8月です。</p>

委員	<p>昨年の8月であれば、22年度の数値も出ていますし、23年度の速報もございます。27年度目標を設定するのであれば、情報は揃っているのではないかと思います。</p>
委員	<p>今の目標値に関して、小学校2%、中学校10%と設定したのは、10%は残るであろうということか、10%くらいは残していいのか、小学校・中学校でどうしてこんなに違うのか、根拠を教えてください。</p>
事務局	<p>これまでの、様々な調査結果を踏まえて目標を設定しましたが、中学生になると、ある程度、食の嗜好性が確立してきます。それを、学校給食では変えにくいというのがございます。これまでの実績・アンケート等を踏まえて2%と10%という差をつけさせていただきました。</p>
委員	<p>学校給食における完食率の向上ということで、新しい食育推進計画が出来て、どう取り組んでいかれるのか教えてください。</p>
事務局	<p>栄養教諭等を中心に学校全体で取り組んでいくことを考えております。その中で、担任の先生と連携した食育の授業や、給食時間を活用した指導、栄養教諭だけでなく学校全体で設定した食育の取り組みや、個別の取り組みをするなかで進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>それを、各学校にお任せするのではなく、各学校が取り組んできたことを、教育委員会で、把握をしていただくことが、取り組みになると思います。言葉だけではなく、きちっと把握していただきたいと思っております。</p>
委員	<p>地産地消を大事にすることは、とても大切だと思います。 放射性物質の検査によって、安全性が認められるのであれば、日本の様々な所にある食材を使うという姿勢が大切ではないかと思います。</p>
委員	<p>この食育推進計画は、0歳から40歳など、対象があるのでしょうか。食育基本法では、年齢制限は無かったと思いますが、計画を見ていると、児童や30歳代までの計画になっているように思います。 今、高齢者の1人暮らしや、低栄養の問題、こういったものは、介護予防に入ってくると思いますが、食育も無関係でないと思います。医療費のことを言うのであれば、高齢者の医療費が増大しておりますので、食育が生涯の計画であれば、高齢者も入れたほうがよろしいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>食育については、子どもから高齢者まで含まれております。第1次の計画の結果、第2次計画では特に若者に力を入れていますが、高齢者につきましても、栄養不足や、肥満のお年寄りの女性が多いということも考えられます。地域での料理講習会で、高齢者の方の参加もございます。そこで、地道に食育を行いたいと思っております。</p>

委員	若い人と高齢者の栄養の問題について、両方やっていただきたいと思います。
事務局	<p>本日ご指摘いただいたことにつきまして、しっかり取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>今後も、福岡市の食育推進の為に、食育推進会議の開催を年に1回程度を予定しております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。</p> <p>では、以上を持ちまして、平成24年度福岡市食育推進会議を終わらせていただきます。</p>